

再評価実施事業調書

番号	2	事業名	社会資本整備総合交付金 大規模特定河川事業 (河川事業)		路線又は箇所名等	二級河川 南白亀川水系 南白亀川・赤目川・小中川			
事業所管課		河川整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成7年度	用地着手年度	平成7年度	工事着手年度	平成7年度	再評価の理由	再々評価		
費用便益比 B/C	4.0 (8.6)	総費用	490億円 (47億円)	総便益	1,960億円 (399億円)	基準年	令和6年	供用開始年度	令和15年度

※上段：全体事業費 下段（ ）：残事業費

【事業概要】

(目的)

南白亀川は、大網白里市の丘陵地に源を發し、途中、小中川、赤目川、内谷川等を合流しながら、白子町において太平洋に注ぐ、流路延長 21.7km、流域面積 116.47km<sup>2</sup> の二級河川である。平成7年度から河川改修事業に着手し、現在は南白亀川中流部の堤防嵩上げや赤目川中流から上流にかけての河道拡幅等の河川改修を実施している。また、本流域では、大網白里市や茂原市の市街地を中心に市街化が進展するなど、流域の土地利用の変化による浸水被害の軽減を図るため、河川改修を実施する。

(主な事業内容)

南白亀川	事業延長	L=11,290m	工事内容	築堤、掘削、護岸
赤目川	事業延長	L=7,700m	工事内容	築堤、掘削、護岸、調節池、堰
小中川	事業延長	L=900m	工事内容	築堤、掘削、護岸、堰

【事業の進捗状況】(令和6年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	219.3	168.5	50.8	76.8

【社会経済情勢等】

① 流域状況

本流域では、大網白里市や茂原市の市街地を中心に都市化が進展しており、河川への流出増加が見込まれる。また、氾濫区域には、大網白里市の市街地の他、国道128号、JR外房線、JR東金線等を含み、水害発生時の被害、社会的影響が極めて大きい。さらに、首都圏中央連絡自動車道や大網白里スマートインターチェンジの開通によりアクセス性が高まり、今後も地域の発展や活性化が見込まれる。

② 主な水害状況

・平成8年9月(台風17号)	浸水面積	479ha	浸水家屋数	58戸
・令和元年10月(10/25の大雨)	浸水面積	132ha	浸水家屋数	144戸
・令和5年9月(台風13号)	浸水面積	317ha	浸水家屋数	204戸

② 投資効果 [裸書：全体事業、( )：残事業]

・浸水世帯数 3,384世帯(1,381世帯) ・浸水面積 1,065ha(813ha)

④ その他(関連事業)

(関連事業)

- ・準用河川乗川改修事業
- ・準用河川金谷川改修事業
- ・首都圏中央連絡自動車道

(地域の協力体制)

- ・南白亀川流域懇談会
- ・九十九里圏域流域治水協議会 南白亀川水系部会
- ・南白亀川河川改修促進期成会
- ・赤目川改修促進期成同盟会

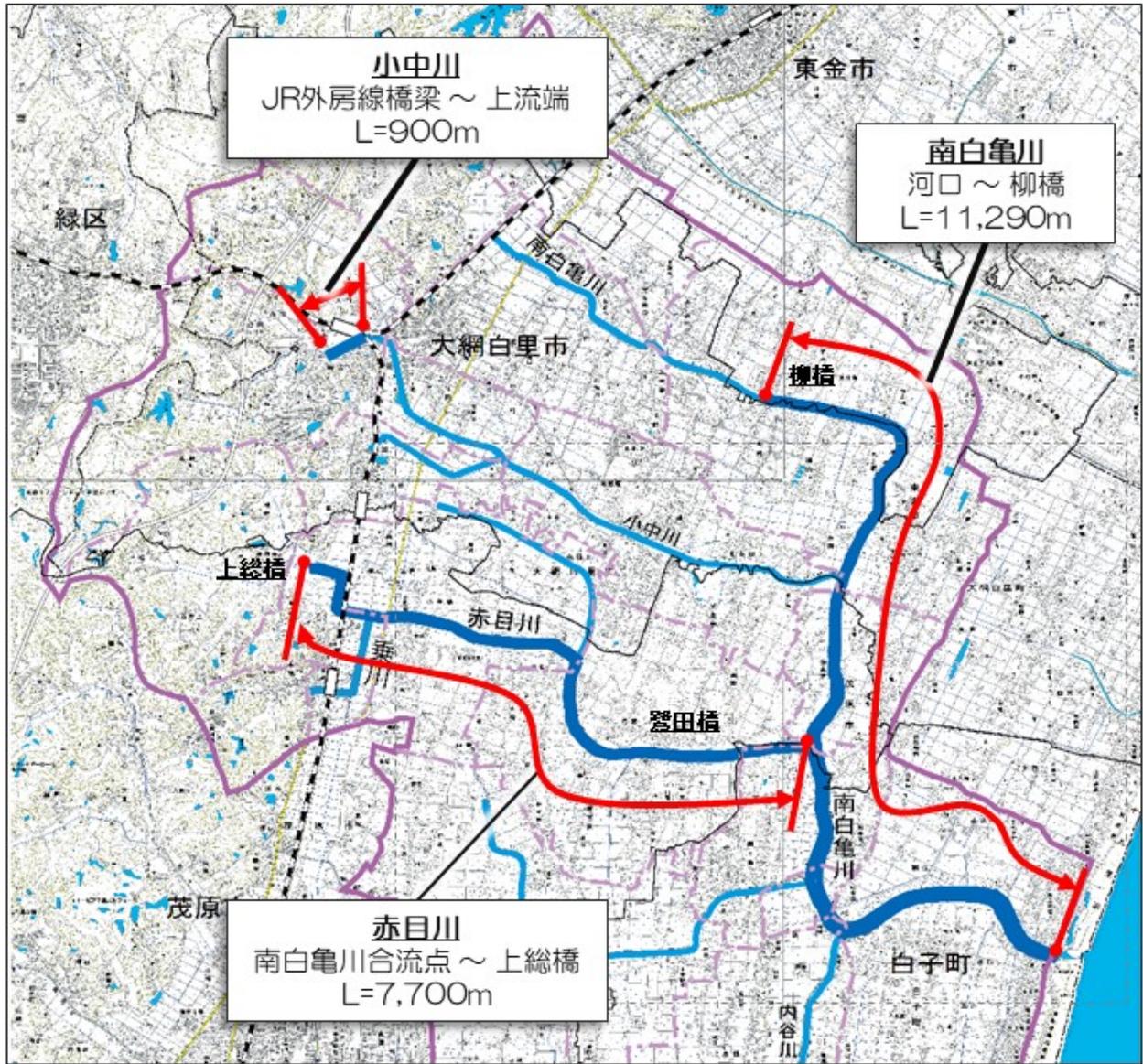
【対応方針(案)】

全体事業の費用対効果(B/C)は4.0(残事業8.6)であり、事業の投資効果が見込めること、また、今後も流域の発展が見込まれ、地元からの要望が大きく、事業の進捗も見込まれることから、事業を「継続」する。

事業概要図

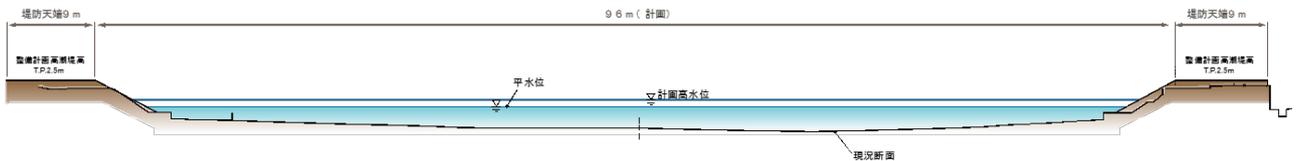
番号	2	事業名	社会資本整備総合交付金 大規模特定河川事業 (河川事業)	路線又は箇所名等	二級河川 南白亀川水系 南白亀川・赤目川・小中川
----	---	-----	------------------------------------	----------	-----------------------------

計画平面図

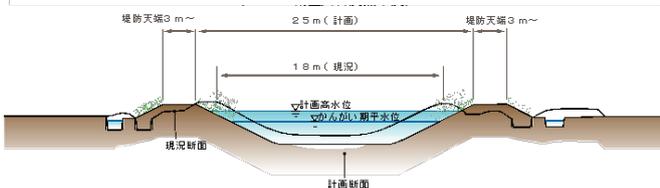


代表断面図

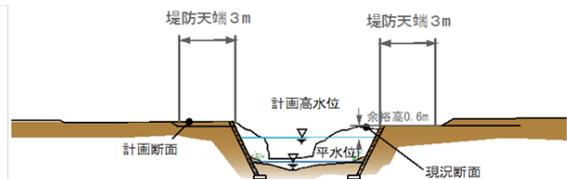
○南白亀川下流部(0.8km 旭橋上流)



○赤目川中・上流部(3.9km 南豊川合流点下流)



○小中川上流部(7.7km JR外房線橋梁上流)



再評価事業に関する調書

番号	2	事業名	社会資本整備総合交付金（河川事業）	路線又は箇所名等	二級河川 南白亀川水系 南白亀川・赤目川・小中川
事業化年度	平成7年度	用地着手年度	平成7年度	工事着手年度	平成7年度

【再評価（令和元年度）の概要】

再評価実施年度 （基準年）	令和元年度	供用開始年度	令和15年度	対応方針	継続
B/C	2.4 [6.0]	総費用	359億円 [61億円]	総便益	849億円 [370億円]

（※上段：全体事業、下段：[ ]：残事業）

再評価時の委員会の意見及び当時の状況  
○継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況

	計 画	進捗状況（令和元年度）
事業費	219.3億円	143.2億円（65.3%）
うち用地・補償費	27.9億円	26.1億円（93.7%）
うち工事費	191.4億円	117.1億円（61.2%）

【再々評価（令和6年度）の概要】

再評価実施年度 （基準年）	令和6年度	供用開始年度	令和15年度	対応方針	継続
B/C	4.0 [7.8]	総費用	490億円 [49億円]	総便益	1960億円 [384億円]

（※上段：全体事業、下段：[ ]：残事業）

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況（令和6年度）
事業費	219.3億円	168.5億円（76.8%）
うち用地・補償費	29.2億円	26.1億円（89.6%）
うち工事費等	190.1億円	142.2億円（74.9%）

再評価後の経過及び処理状況

平成26年11月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価  
（継続が妥当である）  
令和2年1月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価  
（継続が妥当である）